

定例委員会の開催状況

第1 日時 平成15年4月24日(木)
午前10時 ~ 午後0時

第2 出席者 谷垣委員長
渡邊、荻野、安崎、川口、大森各委員、
長官、次長、官房長、生活安全局長、刑事局長、交通局長、
情報通信局長、官房審議官(警備局担当)

第3 議事の概要

1 議題事項

(1) 監察の取扱い事案について

警察庁から、「青森県警察は、同県警察の巡査が、3月、職務上知り合った少女に淫らな行為をした事案に関し、国家公安委員会の了承が得られれば、前の上司である警視正を本部長訓戒の措置とする予定である。」旨の説明がなされ、原案どおり了承した。

(2) 国家公安委員会への意見・要望文書等の措置について

国家公安委員会あての電子メール、書簡等について閲覧し、回答を要するか否かの判断を行った。回答を要するものについては、その内容を原案どおり了承した。

2 報告事項

(1) 警察庁長官に対する開示請求の措置等について

警察庁から、4月22日までの間に警察庁長官に対してなされた開示請求の状況、不服申立ての状況について報告がなされた。

(2) 国会の状況について

警察庁から、4月17日に行われた衆議院個人情報の保護に関する特別委員会の状況等について報告がなされた。

(3) 銃器対策推進本部第9回会合の開催について

警察庁から、「4月25日、内閣府において、内閣官房長官ほか関係12省庁の局長等が出席し、14年度の銃器対策推進状況の確認及び15年度の銃器対策推進計画の策定を内容とした「銃器対策推進本部第9回会合」が開催される予定である。」旨の報告がなされた。

(4) 第46回国連麻薬委員会の開催結果について

警察庁から、「4月8日から17日までの間、オーストリア・ウィーンにおいて、『第46回国連麻薬委員会』が開催され、同委員会閣僚級セッションには、当庁次長が出席し、我が国における薬物対策、国際協力について説明した。」「今回の国連の会議において全体として感じたことは、どの国も、薬物とヒューマントラフィッキング、資金洗浄、テロリズム、これらが密接にリンクしている点についてそれぞれ注意してやらなければいけないと発言していたことで、我が方でも重要なことだと感じた。」旨の報告がなされた。

委員から、「報告を受けて国際協力の実効をあげていくことの重要性を認識した。最近『ユーロ・マフィア』、『黒社会』というノンフィクションものを読んだ。前者は1994年頃までの調査レポートだが、ヨーロッパで事実上国境がなくなって人の移動が自由になったあと犯罪組織が国際的に手を組んで活動したり、日本の暴力団や中国の三合会もヨーロッパで活動を行っている様子が報告されている。銃器、麻

薬も組織犯罪の国際化という視点から、対策が考えられなければならない。暴力団対策を特に外国の犯罪組織との関わりを排除していく方向で更に強化してもらいたい。」旨の意見があった。

(5) 新城市における建設会社役員被害にかかる身の代金目的誘拐・殺人等事件について (愛知県警察)

警察庁から、「4月17日、愛知県^{しんしろ}新城市において建設会社役員が所在不明となり、身の代金が要求された事件について、20日、^{ぬかた}額田町地内山中で、同人の遺体が発見された。同県警察は、特別捜査本部を設置し、所要の捜査を推進中である。」旨の報告がなされた。

委員から、「高速道路上から現金を落とすことを要求されたが、それを行わなかったのは捜査体制が整わなかったからであると新聞に掲載されていたが、実際はどういう状況であったのか。また、捜査本部の立ち上げには、時間的にかなりかかったのか。容疑者が、フィリピン当局に入国を拒否され強制送還されたが、その際、警察官は同行したのか。」旨の質問があり、警察庁から、「高速道路上から現金を落とさなかったことについての状況は、現在調査・検証中である。ただ、捜査本部としては、あくまでも最終的な目標である被害者を救出するために、ギリギリのところまで判断したということである。愛知県警察では、誘拐事件の端緒を入手した直後から対策本部を設置し捜査を継続して行っている。また、脅迫事案の容疑者がフィリピン当局から強制送還された際には、警察官は同行していない。県警は、同人を成田空港で待ち受けて任意同行し、取調べを行ったところである。」旨、説明した。

(6) 松田町路上における男性殺人事件について (神奈川県警察)

警察庁から、「神奈川県警察は、3月29日、^{あしがらかみ}足柄上郡松田町路上で発生した男性殺人事件につき、4月17日、無職の男を殺人罪で逮捕した。」旨の報告がなされた。

- (7) 事務所使用制限命令の発出について(栃木県警察・宮城県警察)
警察庁から、「栃木県警察及び宮城県警察は、4月18日以降発生していた指定暴力団五代目山口組と住吉会との対立抗争事件に関し、4月23日、暴力団対策法第35条第1項に基づき、栃木県内の関係事務所2箇所、宮城県内の関係事務所1箇所に対し、使用を制限する仮の命令を発出した。」旨の報告がなされた。
- (8) 電動車いすに係る安全対策の推進について
警察庁から、「歩行困難な身体障害者や高齢者の社会参加手段となっている電動車いすについて、平成14年中の交通事故の実態を明らかにするとともに、本年度は、電動車いすの安全利用に関するマニュアルを活用した『電動車いすの安全利用に関するモデル事業』を実施することとした。」旨の報告がなされた。
- (9) 改正道路交通法の施行後10か月の状況について
警察庁から、改正道路交通法等に基づく、昨年6月から本年3月までの免許証更新者数、飲酒運転取締り件数等について報告がなされた。
- (10) 皇太子同妃両殿下の「第14回全国『みどりの愛護』のつどい」御臨席等(兵庫県)に伴う警衛警備について
警察庁から、「皇太子同妃両殿下は、4月25日から26日までの間、「第14回全国『みどりの愛護』のつどい」御臨席等のため、兵庫県へ行啓になる。関係警察では、所要の体制で警衛警備を実施することとしている。」旨の報告がなされた。
- (11) 小泉総理大臣の欧州訪問をめぐる動向と警護警備について
警察庁から、「小泉総理大臣は、4月26日から5月3日までの間、各国首脳との会談のため、欧州(英国、スペイン、フランス、ドイツ、ギリシャ)を訪問する予定である。警視庁では、所要の体制で警護警備を実施することとしている。」旨の報告がなされた。

(12) 「よど号」犯人の実妹の帰国・逮捕について

警察庁から、「警視庁は、4月22日、旅券法違反の疑いで、「よど号」犯人赤木志郎の実妹、赤城美智子^{あかぎみちこ}（49歳）が北朝鮮から中国・北京経由で帰国したところを成田空港において逮捕した。」旨の報告がなされた。

(13) S H A C 活動家による大阪大学に対する窃盗及び建造物侵入事件の検挙について

警察庁から、「大阪府警察は、4月15日、大阪大学に対する窃盗及び建造物侵入事件被疑者として英国籍のS H A C^{シャック}女性活動家1人を通常逮捕した。」旨の報告がなされた。